中部日本
戰時版

發行所
中部日本新聞社
名古屋市中區西川端町一ノ五
別館
同　[illegible]御幸本町通二ノ二四

一ケ月七十錢（一部三錢）

發行人
編輯人
印刷人　[illegible]

島田農商相
收穫豫想奏上

島田農商大臣は三十日午前十時四十分宮中に參内　天皇陛下に拜謁仰付けられ昭和十九年米收穫豫想に關し奏上、退下した

次官會議

三十日の次官會議は午前八時半より首相官邸に開催、當面の諸問題につき懇談、同十時三十分散會した

成都を猛爆

【リスボン三十日發同盟】重慶來電によれば日本機は廿九日夜成都を空襲した、このため重慶では同夜空襲警報が四時間半も續いた

勝利の突擊路は開く
遣れ遂れ、翼だ兵器だ
誓って果せ前線の要求

米英擊摧大阪大會
小磯首相講演

生死の關頭・體當り增產

大阪中之島公會堂における一億憤激米英擊摧國民大會は卅日午後一時開會、緒方翼賛會副總裁の挨拶に續き滅敵誓ふ宣言、決議を行つて後小磯首相起つて次の如く講演を行ひ『物量優位の敵に對し眞に皇軍を精強、世界無比たらしむるには最小限度必要なる航空機その他兵器、彈藥を補給するにある、今や苛烈なる戰相は勝利か死か眞に皇國の存亡を決する重大關頭に立ち些さかの妥協も許さず』と斷じて烈々の決意を披瀝、感銘を與へた、更に小林總裁、岡田衆議院議長いづれも總蹶起の秋ぞ今と熱弁を揮つた＝寫眞は小磯首相

一億同胞は近く決戰が起るであらうことを待望してゐたが果せる哉十月中旬台灣沖の海戰によつて決戰の幕は落された、敵は不遜にも台灣、沖繩空襲の擧に出て來たが我れはその出鼻を痛烈に叩きつけ敵主力を殆んど殲滅せしめ航空母艦十一隻、戰艦二隻の擊沈を始め一海戰に於て敵艦船總計四十數隻を擊沈破するといふ戰史に類例を見ざる曠古の大捷を博したとは大東亞戰爭の歸趨を卜すべき一大決戰の序幕を飾つたのである、この報道に接した瞬間のわれわれ一億國民の感激は實に例ふるものなく心中一切の曇りも吹き飛し必勝への途を照らしてくれる炬火を見るの思ひがしたのである、敵は元來台灣沖航空戰に大損害を被つたにも拘はらず突如レイテ島に足をかけ比島奪還に乘出して來た、が兜の緒をしめ直して戰鬪行動についてゐた我が軍は十月二十日以降タクロバン海岸に上陸し來つた敵を邀へ擊つと共にレイテ灣內の敵艦船九十四隻を血祭りにあげ續いて上陸した敵を掃滅するため果敢なる手配を行つてをり、今日なほ戰果擴大中である

增產の結晶今ぞ敵殲滅

臺灣、比島における我が赫々の大勝は實に大御稜威の下、陸海軍が渾然一体となり壯烈言語に絶する勇戰奮鬪を遂げた結果であり、台灣、沖繩の同胞は熾烈なる空襲下挺身敢鬪克く敵を擊退し皇軍をしてこの大戰果を擧げしめるために絶大なる力を發揮したのである、之と共に銃後一億國民が生產戰力の增強に注いだ努力が敵を殲滅に歸せしめるに與つて力があつた、即ち我々の手に成つた航空機が、魚雷があの大戰果を擧げたのだ何と愉快ではないか

一億體當り勇士に續け

攻勢決戰の幕はかくして皇軍の大捷を以て開かれた、如何に物量を誇る敵とはいへ、この度の損害が著しく手痛いものであつたに違ひない、然しながらわが方においても決して易々とこの戰果が擧げられたものではない、艦船數隻を失つた外、少からず尊い未歸還機のあることをわれわれは決して忘れてはならぬ、思ふに今次戰ひつくして遂に還らなかつた幾多將士の純忠の氣魄こそは烈々たる皇國傳統の精神を發現したものである、われわれはこれら將士が身をもつて示してくれた皇國精神の神髄をよくよくかみしめてその後に續きたい、戰局は今や比島及びその周辺を主戰場として本格的な決戰が開始されたのである

皇軍の威力かくて發揮

今回の大捷によつて我々の痛感するのは精鋭無比たる皇軍將兵に航空機その他の兵器をその必要とするだけ與ふれば眞に世界無敵であるといふことである、今回の戰ひに勝つたのも皇軍われら銃後同胞の生產した航空機その他の兵器が兎も角も決戰に間に合つたからである、敵はその有する物量の優位だけが唯一の恃みである、敵はわれに數倍する量を持つてゐやう、然し物量のみが勝敗を決するすべてではない、現に今回の決戰の戰果の如きも量の劣勢を以てなほよく大敵を屠るの途少からざることを如實に物語つたものである、さればとて最小限度必要なる兵器彈藥の補給なくしては皇軍如何に精強なりと雖も勝利を得ることの困難であることもまた事實である、マーシャル、マリアナの諸島に同胞が皇軍と共に玉碎していつたあの事實こそが航空機その他兵器彈藥の補給に對するわれ等銃後の責任と奮起とを要望するものでなくてはならぬ、もとより敵と同量の物量を望むことは可能ではない、またその必要もない、然し少くとも皇軍がその眞價を發揮し十分に働き得る程度の兵器彈藥は國民として何としてでも補給せねばならぬ、このことは決して不可能ではない、皇國の現情をもつてすれば國民一億が必死となつて働けば十分敵を擊破するに足る航空機その他の軍需品を供給するのに決して不安はない

ガ島以來の戰訓に奮へ

想へば先に皇軍が大東亞戰爭の緒戰に於て東亞全域より敵勢力を一掃し南太平洋における占據地域を擴大し得たにも拘らずガ島の轉進作戰以來押され氣味となり今日の重大なる形勢に立至つた原因は一に航空勢力の劣勢より制空權を敵に任かしたがためであつたことはわれ等國民の肝に銘じて忘るべからざる前車の覆轍である、我等が物量を送り得なかつたことは何としても忠靈に對し申譯がない、これこそ尊い教訓である、米英國民の豪語する生產力に對抗するところのわれ等銃後國民の生產輸送の戰ひである、國民の勤勞力の敵國民の勤勞力に對する戰ひである、俟つものはたゞ國民一億の余すところなき努力と必勝の氣魄のみである

たゞ勝利か、死あるのみ

一億國民が即時戰鬪配置につき各々の職域を守り通し働き抜くところ必ずや必勝の戰力は生れるのである、こゝにおいてかわれわれ銃後同胞は何を措いても前線將兵の要望するだけの優秀なる兵器の增產を次の戰ひまでに間に合はせねばならぬ、而して事は一刻の余裕をも許さぬ、われわれの目前の努力のみが當面の決戰をして勝利に歸せしめ、從つて亦よく皇國國体を無窮に護持し得るの途である、殊に今次大東亞戰爭の苛烈なる實相は勝利か死か眞に皇國の存亡を決するものでその間いささかも妥協を許す性質のものではない、來るべき決戰に勝ちを失ふとは皇國の國體を失ふことであり、日本民族の滅亡を意味するものである、中途半端の妥協を希望し得るものと考へるものありとせばそれは單なる痴人の夢に過ぎぬ、我々は斷じて勝たねばならぬ、皇國の國体なくしてなんで日本民族の存立があらう、妥協によつて國民の死滅を免れんとするが如きことを考へるのは敵の永遠に亘る壓迫搾取の旨の下に國民の矜りも生活も一切を泥の中に棄て去り過酷なる重稅と悲慘なる飢餓とのうちに奴隸としての境遇に甘んじようとするものである、

正義人道も勝つてこそ

われわれは飽迄も戰かはねばならぬ敵の非望も怯懦も一切の論議はこの際無用である、正義も人道も總ては勝利を得てこそ始めて敵に要求し得るのである、戰ひ抜き勝ち抜いてこそ皇國の道義は世界に宣揚せられ強く正しき東亞の復興は期し得られるのである、敵は戰意の基礎をあくまでも物量の優越感に置いてゐるが皇軍にして必要程度の航空機その他の兵器を有する限り我が傳統の敢鬪精神の前に彼等の物量の恃み得ざるとは今回の實證によつて明らかである、この意味において愈々熾烈ならんとする彼我の一大決戰こそは皇國が大東亞戰爭完遂上勝利者たるべき動機を把握すべき重大なる段階にある

大和一致いざ銃後突擊

今こそ國民は遠き祖神の大前に額き至純至高の心境に立つて一切の邪念を拭ひ去り國難打開の敬虔なる祈りを捧ぐるとゝもに國民一億は內に大和一致戰力の增強に必死の努力を傾け、外大東亞十億の民族がその總力を結集し東亞を護り抜くの氣魄を最高度に發揮すべき時でありかくしてはじめて勝利は必ずわが上に在るのである、今や皇軍は決戰の序の口において見事に突擊路を啓いた、政府は即ちこの突擊路より斷乎戰爭目的の完遂に邁進し今次戰捷の効果により敵の戰意が多少なり怯む間に戰力を貯へつゝ必勝の施策は遲疑するところなく實行し以て最後の勝利を獲得せんとするの決意を有するものである、國民諸君亦勝利の日まで斷じて戰ひ抜いていたゞきたい

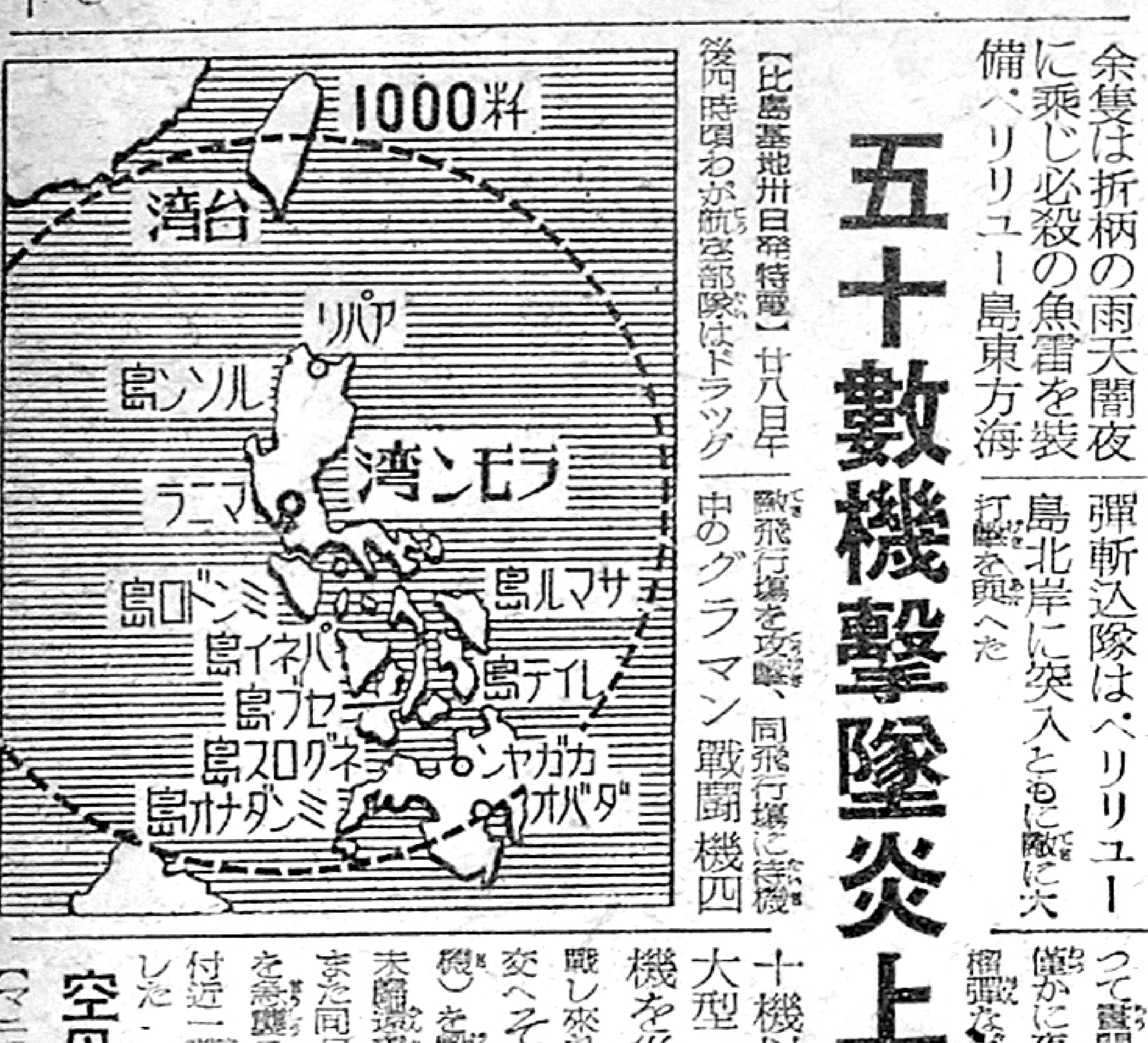
神風攻擊隊、猛威を揮ふ
空母等七擊破炎上
レイテ灣、ラモン灣猛襲

【比島基地三十日發特電】わが神風特別攻擊隊は廿九日正午頃ラモン灣東方洋上に敵空母四隻（內三隻は大型）戰艦二隻乃至四隻その他十數隻よりなる敵機動部隊を捕捉、これに突擊し敵大型空母の艦橋後方に命中これを炎上落伍せしめ、更に艦種不詳二隻、巡洋艦一隻にもそれぞれ命中何れも炎上せしめた

【比島基地三十日發特電】わが神風特別攻擊隊は二十七日午後六時過ぎレイテ灣を强襲一番機は敵戰艦後部に命中中破せしめ、二番機は巡洋艦に命中大破せしめ更に三番機は突擊中被彈せるも屈せず敵大型輸送船々尾に猛然と突入した

ペ島に魚雷挺進隊
肉彈斬込隊 北岸へ突入

【中部太平洋基地三十日發特電】パラオ方面の我が部隊は敵大軍を邀へて連日連夜挺進斬り込みを敢行、士氣愈々旺盛であるが、二十八日午前三時ごろ第○○魚雷艇隊付平井明海軍大尉（福岡縣八女郡水田村出身＝神戶高等商船學校卒）の率ゆる魚雷艇挺進隊十余隻は折柄の雨天闇夜に乘じ必殺の魚雷を裝備・ペリリュー島東方海面の敵輸送船團に肉薄奇襲を決行した、またこれに呼應し澁谷司中佐（福島縣耶麻郡磐梯村出身）の率ゆる肉彈斬込隊はペリリュー島北岸に突入とゝもに敵に大打擊を與へた



五十數機擊墜炎上
レ島兩飛行場强襲

【比島基地卅日發特電】廿八日午後四時頃わが航空部隊はドラッグ敵飛行場を攻擊、同飛行場に待機中のグラマン戰鬪機四十機以上をはじめ四發大型一機小型輸送機數機を炎上せしめた、この間挑戰し來れる敵戰鬪機群と空戰を交へその十機（うち不確實三機）を擊墜したがわが方また自爆未歸還五機の犧牲を出した、また同日夜間タクロバン敵飛行場を急襲これに的確なる爆擊を加へ付近一帶を火の海と化せしめ歸還した

空母一擊沈追加

【マニラ三十日發同盟】わが航空部隊は二十四日レイテ灣內敵艦船群を三回にわたつて猛攻大戰果を擧げた、この攻擊において先に發表した戰果の他更に水上機母艦一隻を擊沈してゐることがその後の報告で確認された

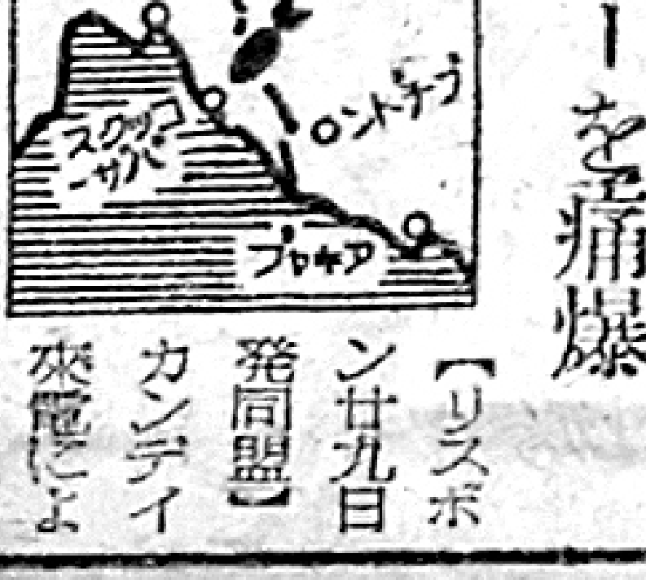
ペ島の敵、窮余の土嚢戰術

ペリリュー島方面はその後依然として我が守備部隊の肉彈斬込み等をもつて勇戰敢鬪を續け敵が窮余の策としてわが陣前に土嚢を構築しわが方の攻擊を妨害しつゝあり從つて晝間は殆んどその攻擊もなく僅かに夜に至つて大砲機關銃、手榴彈などで應戰しつゝある

敵一個師更に揚陸
タクロバン南方

敵は廿六日よりタクロバンの飛行場を使用せんと戰鬪機を集結し始め一方二十七日以來さきに上陸した三個師の外、更に一個師をタクロバン南方に上陸せしめた、二十八日レイテ灣外の敵艦船の數は依然衰へず、その數輸送船約五十隻、巡洋艦、驅逐艦など十數隻に達し引續き增强中である、これに對しわが地上部隊はこの敵を邀へ勇戰敢鬪を續けてゐる、殊にわが荒鷲は連日連夜ドラッグ、タクロバン兩飛行場を襲ひ敵の侵入を封殺してゐる、二十八、二十九兩日にはマニラ、クラーク地區に艦載機延二百五、六十機が三次に亘つて來襲した、我が方は三十七機擊墜した

コックス・バザーを痛爆



【リスボン廿九日發同盟】カンディ來電によれば東南アジア反樞軸軍司令部は日本機が廿八夜ベンガル州コックス・バザーを爆擊し損害を生じた旨二十九日發表した

十一月一日初日
[illegible]
小さな町　一幕
泣虫石松　六景
晩秋交響樂　十一景
カワベキミオ
我等が爆笑王・又々放つ巨彈！
赤門劇場

『中部日本戰時版』終刊

廣く愛讀と支援を仰ぎました本紙は急迫せる戰局の下、各種資材、勞務などいづれよりするも現狀を維持することは困難となりたるに鑑み熟慮の末、本日をもつて終刊致すことゝなりました深く寛容を乞ふ次第です。

なほ愛讀諸君には出來得る限り、母紙「中部日本新聞」の購讀を得るやう手配準備を致してをりますが、紙數に限りあり、この点よろしく御諒承を願ひます。

十月三十一日　中部日本新聞社